

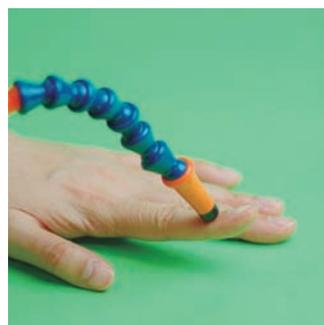
操作スイッチの種類



タッチスイッチ



握るスイッチ



指先にふれると
作動するスイッチ



ベッド柵につけた
タッチスイッチ



足スイッチ



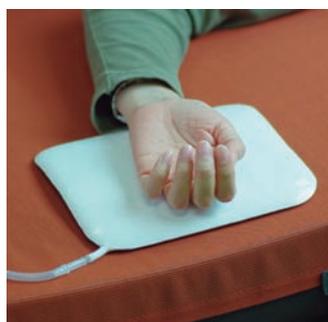
ほほに押し当てると
作動するスイッチ



呼気スイッチ



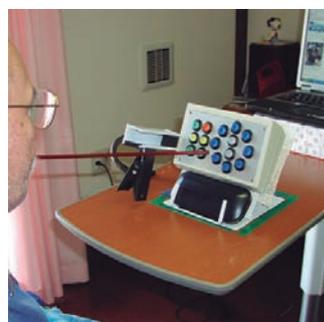
額（ひたい）の動きを
検知する光センサースイッチ



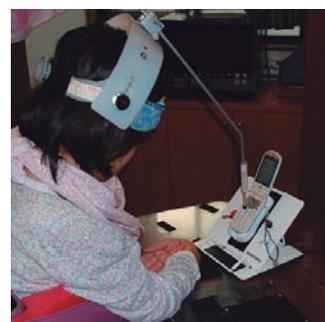
空気圧スイッチ



呼気スイッチ＋反射シール
パソコン操作



マウススティック
パソコン操作



ヘッドポインタ
携帯電話操作

操作スイッチとは、コール（呼び出し）、家電用リモコン（テレビ、エアコンなど）、電話、コミュニケーションエイド、パソコンなどの電化製品を操作する入力装置のことです。一般の入力装置（スイッチ）と違うところは、利用者の身体状況に応じてスイッチの形状や操作力などを評価し、工夫する点です。さらに、スイッチの固定方法や設置環境など生活全体の環境を整える必要があることです。ここではマウススティックなど一般のスイッチを押すための道具も入力装置の一種としています。



操作スイッチを提案するだけでなく、
スイッチの固定方法や設置環境もあわせて考えます。